

半夏は糸のかたち / 天と地を繋ぐ柱

極寒の月下 / 水明の輝き / 光は無限を乗せ

絹の二子糸のように喜びが走る / 月山に向けて / 一粒の種が散華する。

紅花ルネサンス vol.4

山形 → 未来

2012年1月21日(土) [ワークショップ] 13:00~16:00

22日(日) [シンポジウム] 12:00~16:00

[ワークショップ] 東北芸術工科大学 本館前正面広場

[シンポジウム] 東北芸術工科大学 こども芸術教育研究センター内 こども劇場

[対象] 全教職員、学生及び紅花研究者、染織家、
紅花栽培農家、紅花に関心をお持ちの一般参加者 参加無料

[講演者・出演者] 吉岡幸雄 (染織研究者、染司よしおか当主)

山岸幸一 (染織家、日本工芸会正会員、東北芸術工科大学非常勤講師)

石山信哉 (山形市高瀬地区、産地直売所たかせ代表)

遠藤みよ (山形市高瀬地区、産地直売所たかせ)

斎藤善一 (山形市高瀬地区、高瀬紅花生産組合)

大内理加 (山形県議会議員、山形県紅花生産組合連合会会長)

中島洋一 (古典織物研究者、東北芸術工科大学非常勤講師)

根岸吉太郎 (東北芸術工科大学学長、映画監督)

[企画] 東北芸術工科大学芸術学部美術科テキスタイルコース 社団法人山形和織

[協力] 株式会社田中直染店 株式会社誠和 藍無染科株式会社 有限会社スカイファームおぞき littlelab.



「種」を蒔く、ということは「生命」という不思議を思考します。

比喩ではなく実際に、東北の、山形の、大地に紅花の「種」を蒔き、太陽の光、月の光彩のなかで紅花の生態の不思議を体感してきた彼女達がここにいます。特筆すべき「半夏のひとつ咲きわら」。

どのような敷地の広さに関わらず、先陣きって蕾の輪が開き、咲き始めます。その事実は地球のドラマと、どのように繋がっているのでしょうか。

芸工大テキスタイルコースで学ぶ者達は、今年もまた「種」を蒔くことから始まりました。(2011年4月20日)その遺伝子的繋がりは、想像から創造へと意識は紡ぎ出され、不思議の先に在る大切に「種子」は、ひとりひとりの予言に満ちた、不可視の可視化に繋がりました。その豊かな表現行為は東北からの、大いなるメッセージとなることでしょう。

アートが東日本復興の勇気と希望に繋がることを、〈世界〉の未来の活力になることを願ってやみません。

辻けい(東北芸術工科大学芸術学部美術科テキスタイルコース教授・美術家)

(※)半夏生=七十二候の一。夏至から11日にあたる。

紅花ルネサンス vol.4 山形→未来

2012年1月21日(土曜日)【ワークショップ】13:00-16:00 東北芸術工科大学 本館前正面広場

22日(日曜日)【シンポジウム】12:00-16:00 東北芸術工科大学 こども芸術教育研究センター内 こども劇場

【対象】全教職員、学生及び紅花研究者、染織家、紅花栽培農家、紅花に関心をお持ちの一般参加者 参加無料

Workshop ワークショップ 1月21日(土曜日)13:00-16:00

本学本館前広場にて、学生及び参加者が紅花寒中染体験。(※12:00より受付開始)

※ワークショップ当日は汚れても良い服装でご参加ください。

また、屋外にて作業いたしますので防寒のご用意をお願い致します。

お食事は学生食堂も御利用頂けます。(open-close 10:30-13:30 ※日曜日 休)

Symposium シンポジウム 1月22日(日曜日)12:00-16:00

1部 紅花プロジェクト

12:00-12:30 紅花プロジェクト今年度活動報告

テキスタイルコース学生×高瀬地区紅花生産者

石山信哉(山形市高瀬地区・産地直売所たかせ代表)

遠藤みよ(山形市高瀬地区・産地直売所たかせ)

斎藤善一(山形市高瀬地区・高瀬紅花生産組合)

12:30-13:00 「今、何故、教育の現場で〈紅花〉なのか?」 根岸学長×辻けい

根岸吉太郎(東北芸術工科大学学長・映画監督)

辻けい(東北芸術工科大学テキスタイルコース教授・美術家)

13:00-13:15 ティータイム(紅花茶)

2部 紅花談話

13:15-13:30 吉岡幸雄(染織研究者・染司よしおか当主)

「紅花の歴史 - 落ち穂拾い -」

13:30-13:45 山岸幸一(染織家・日本工芸会正会員・東北芸術工科大学非常勤講師)

「紅花を語る」

13:45-14:00 大内理加(山形県議会議員・山形県紅花生産組合連合会会長)

「これからの紅花の利活用 - 赤にこだわって -」

14:00-14:15 中島洋一(古典織物研究者・東北芸術工科大学非常勤講師)

「紅花の色彩力」

14:15-14:30 山崎和樹(東北芸術工科大学テキスタイルコース准教授・草木染研究者)

「紅花染 - 変幻する色彩の魅力 -」

14:30-14:45 ティータイム(紅花茶)

3部 ディスカッション

14:45-16:00 来場者も交えて今後の活動方針や可能性を探る(質疑応答)

Relationship Project 関連プロジェクト

『芸工大テキスタイルコース・紅花ルネサンス』in 紅の蔵

芸術と自然が循環し、さまざまな素材発見による実験場としての取り組みを、映像やパネルにて紹介。2008年より学生たちが実際に染めた紅花の色を展示します。

場所: 山形まるごと館 紅の蔵 街なか情報館

期間: 1月12日(木) - 2月5日(日)

時間: 10:00-18:00

問合せ: 山形まるごと館 紅の蔵 023-679-5101

Enquiries お問い合わせ

990-9530 山形市上樫田 3-4-5 東北芸術工科大学

芸術学部美術科テキスタイルコース 辻けい / 山崎和樹 / 高橋幸子

tel.023-627-2000(代表) fax.023-627-2081

tel.023-627-2207(テキスタイル準備室・高橋)

mail. takahashi.sachiko@aga.tuad.ac.jp http://gs.tuad.ac.jp/textile/

種 から育った生命の色 押見菜奈

「山形」という色で染める 豊原詩織

ひとつの花から花とまた異なる色が生まれ

無数の世界を紡ぐ 榎本美波

命の色が生まれる時 蛭野知佳

大地と私たちをつなぐ無限の柱 板橋里奈

繰り返す大地の色 西片祥子

あふれだす大地の表現 千葉明日香

東北芸術工科大学
美術科テキスタイルコースは
“種” から始まる・・・

Access アクセス

●山形新幹線利用の場合

東京駅(直通150分)-山形駅-(バス20分)-東北芸術工科大学

●山形駅前5番バス乗り場「芸術工科大学前砂き」乗車

●高速道路利用の場合

東北自動車道・村田JCT(山形自動車道40分)-山形蔵王IC(10分)-東北芸術工科大学



※表紙「無限を乗せ」「二子糸のように喜びが走る」は、イギリスの画家・詩人・銅版画家の William Blake の "Heaven in a wild Flower", "Auguries of Innocence" より引用。